



取扱説明書

【セット内容】
LLT10本体／取扱説明書(保証書付)

このたびは、学習タイマー「ルラップ」LLT10をお買い上げいただき、ありがとうございます。本製品をご使用のときは、必ず本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、本書は保証書を兼ねています。すぐにお手にできる場所に保管し、紛失しないようご注意ください。

- 製品の見直しなどのため、仕様・価格・デザインその他は予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することはおやめください。
- 本書の内容は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
- 本製品は日本国内専用です。This product is for use only in Japan.
- 本書の作成には万全を期していますが、万一誤りなどがございましたら、当社までご連絡ください。
- キングジム、KING JIM、ルラップ、le lapは株式会社キングジムの商標または登録商標です。

アフターサービスについて

■保証書

保証書は販売店名・お買い上げ年月日等の記入をお確かめのうえ、販売店よりお受け取りください。保証書と保証規定の内容をよくご覧のうえ、大切に保管してください。

■修理に出されるときは

保証期間内は、保証規定に基づいて修理いたします。製品および保証書をお買い上げ販売店までお持ちください。保証期間後も、修理によって使用可能なときは、ご要望により有償で修理いたします。製品をお買い上げ販売店までお持ちください。なお、当社の都合により代替品に交換することで修理に変えさせていただきます。

■お問い合わせ

アフターサービスについてご不明な点やご相談は、お買い上げ販売店、キングジム製品取扱店または当社お客様相談室にお問い合わせください。

フリーダイヤル(全国共通) ナットクのパートナー
お客様相談室 ☎0120-79-8107
FAXからの場合 0120-79-8102
携帯電話からの場合 0570-06-4759 ※通話料お客様負担
受付時間：平日(月～金曜日) 午前9:00～午後5:00

株式会社キングジム

東京都千代田区東神田二丁目10番18号 〒101-0031
https://www.kingjim.co.jp/



安全上のご注意 (必ずお守りください)

お使いになる方々や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。本製品をご使用のときは、必ず本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、本書は不明な点をいつでも解決できるように、すぐ取り出して見られる場所に保管してください。

●次の絵表示で、お守りいただきたい内容を区別して説明しています。

- ⓪ は、してはいけない「禁止」の内容です。
- ❗ は、必ず実行していただきたい「強制」の内容です。

⚠️ 危険

この表示を守らずに、誤った使い方をすると、「死亡または重傷などを負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高い危害が想定される」内容を示しています。

- ⓪ 高温になる場所(火のそば、ストーブのそば、炎天下)、高温多湿やほこりの多い場所での本製品の使用や放置、保管をしないでください。発熱・破裂・発火の原因となります。
- ⓪ 釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。発熱・破裂・発火の原因となります。
- ❗ 電池はお子様が進み込まないように、手の届かないところに保管してください。誤って飲み込むと大変危険です。万一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。
- ❗ 電池の内部液が目に入ったときは、失明などの障害のおそれがありますので、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で十分に洗った後、医師の治療を受けてください。

⚠️ 警告

この表示を守らずに、誤った使い方をすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。

- ⓪ 直接日光の当たる場所、暖房器具の近くに置かないでください。
- ⓪ 指定している電池以外は使用しないでください。
- ⓪ 本製品を分解、または改造しないでください。故障・火災・感電の原因となります。
- ⓪ 本書に記載されていない操作はしないでください。事故や故障の原因となります。
- ❗ 電池の内部液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐに水道水などの多量のきれいな水で洗い流してください。
- ❗ 本製品を長時間使わない場合や、電池を使い切った場合は、本体から電池を取り出してください。電池から発生するガスにより、電池を漏液・発熱・破裂・発火させるおそれがあります。
- ❗ 電池は極性通りに入れてください。間違った極性で入れた場合、電池を漏液・発熱・破裂させたり、本製品を破損させるおそれがあります。

⚠️ 注意

この表示を守らずに、誤った使い方をすると、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

- ❗ 万が一、本製品または本製品の一部分が破損した場合、そのまま使用せずすぐに使用を中止してください。

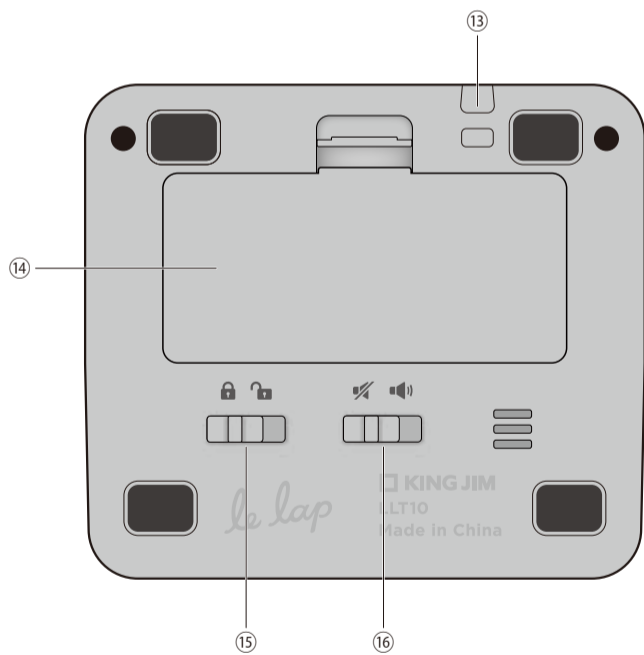
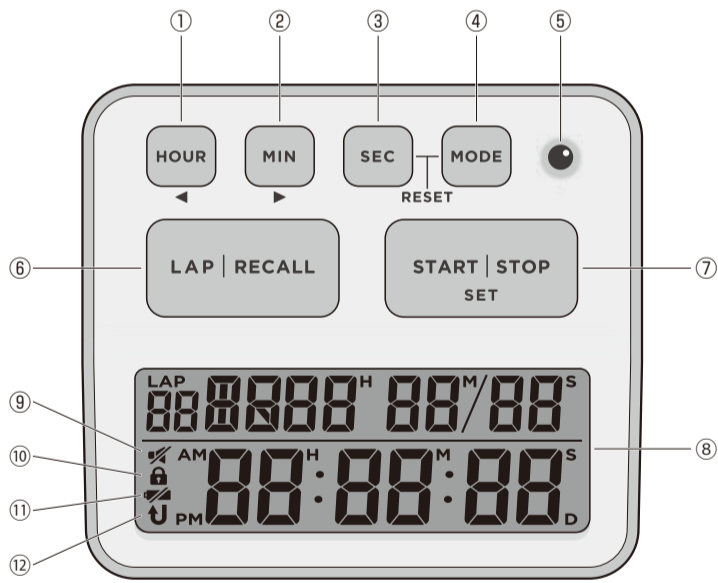
取り扱い上のご注意

- 本製品を踏んだり、落としたり、叩いたりなど、強い力や衝撃を与えないでください。破損することがあります。
- 本製品は長い間使用すると、紫外線(特に直射日光)や摩擦により変色することがあります。
- 液晶画面は見る角度によって、表示が薄くなることがあります。
- 液晶画面を強く押す、叩くなど、故意に強い衝撃を与えたり、強くこすったりしないでください。傷の発生や破損の原因となることがあります。
- 本製品を拭く際は、乾いた柔らかい清潔な布をお使いください。ベンジン、アルコール、シンナーなどの化学製品は使用しないでください。
- 液晶画面を拭いたりして圧力を加えたり、乾いた布で拭いたことによる静電気によって、黒い線やシミが発生することがありますが、しばらく放置することで元に戻ります。
- 電池交換アイコンが表示されたら速やかに新しい電池に交換してください。表示が薄くなったり消えたり、アラームが鳴らないなど誤動作をする場合があります。また、電池交換の際は、全て指定の新品電池(単4形アルカリ乾電池)と交換してください。

主な仕様

外寸	約74(W) × 65(D) × 22(H)mm
質量	約52g(乾電池含まず)
表示方式	液晶デジタル 上段6桁／下段6桁
タイマー	カウントアップ…最大表示時間99時間59分59秒 カウントダウン…最大セット時間99時間59分59秒 LAPタイム…最大記録数99回
アラーム作動時間	約10秒間 ※消音切り替え可能
カレンダー／時計	設定範囲…2023年1月1日～2099年12月31日 時計表示切り替え…24時間表示⇄AM/PM表示 時計精度…平均月差±30秒(常温中)
デイカウント	最大設定日数…999日
電源	単4形アルカリ乾電池×2本(別売)
電池寿命	約1年間(1日10秒×3回 アラーム作動時) ※電池寿命は、使用環境・状況によって異なります。
動作環境	温度 5～35℃ 湿度 30～80%(非結露)
保存環境	温度 -10～50℃ 湿度 5～80%(非結露)
セット内容	LLT10本体／取扱説明書(保証書付)

各部の名称と機能



① HOUR / ◀ ボタン

【カレンダー／時計モード・デイカウントモード設定時】
設定をする際に、数字を減らします。
【タイマーモード(カウントダウン)設定時】
「時(H)」を設定します。
【タイマーモード(LAPタイム)設定時】
RECALLモード中、記録したLAPタイムを戻って選択することができます。
※上記設定中、ボタンを長押しすると早く進みます。

② MIN / ▶ ボタン

【カレンダー／時計モード・デイカウントモード設定時】
設定をする際に、数字を増やします。
【タイマーモード(カウントダウン)設定時】
「分(M)」を設定します。
【タイマーモード(LAPタイム)設定時】
RECALLモード中、記録したLAPタイムを進めて選択することができます。
※上記設定中、ボタンを長押しすると早く進みます。

③ SEC ボタン

【タイマーモード(カウントダウン)設定時】
「秒(S)」を設定します。
※上記設定中、ボタンを長押しすると早く進みます。

④ MODE ボタン

ボタンを1回押すごとに「カレンダー／時計モード」→「デイカウントモード」→「タイマーモード」の順に切り替えることができます。

⑤ LEDランプ

各種操作時やカウントダウン終了時に点滅します。

⑥ LAP / RECALL ボタン

【タイマーモード(カウントダウン／カウントアップ)設定時】
カウント計測中に押すと、LAPタイムを記録することができます。カウント計測一時停止中に押すと、計測中のLAPタイムが記録され、これまでに記録したLAPタイムを確認できるRECALLモードになります。
RECALLモード中に押すと、RECALLモードが解除されます。

⑦ START / STOP / SET ボタン

【カレンダー／時計モード・デイカウントモード設定時】
設定をする際に、数字を決定します。
【タイマーモード(カウントダウン／カウントアップ)設定時】
カウントを開始したり、一時停止したりすることができます。

⑧ 液晶

「カレンダー／時計モード」、「デイカウントモード」、「タイマーモード」を表示することができます。

⑨ 消音アイコン

アラーム音切り替えスイッチの位置が「音無し」のときに点灯します。

⑩ キーロックアイコン

キーロックスイッチの位置が「ロック」のときに点灯します。

⑪ 電池交換アイコン

電池残量が少なくなると点灯します。点灯を確認したら、新しい電池に交換してください。

⑫ 折り返しカウントアップアイコン

折り返しカウントアップが始まると点灯します。

⑬ ストラップホール

ストラップを取り付けることができます。

⑭ 電池蓋

⑮ キーロックスイッチ

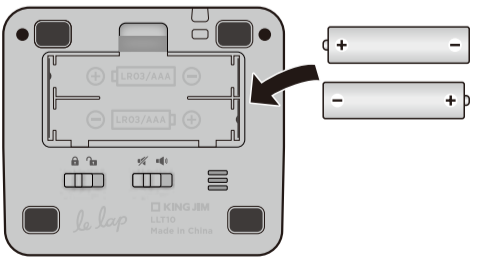
キーロックの状態を切り替えます。
🔒 ロック(全てのボタン操作をロックします。)
※アラーム音切り替えスイッチはロックされません。
🔓 解除(全てのボタン操作が可能になります。)

⑯ アラーム音切り替えスイッチ

アラーム音の有無を切り替えます。
🔕 音無し(LEDのみ点滅)
🔊 音有り(アラーム音、LED点滅)

電池の入れ方

- 1 本体裏面の電池蓋のツメに指をかけて電池蓋を開けます。
- 2 +と-の極性表示に合わせて、単4形アルカリ乾電池(別売)を2本セットし、電池蓋を閉めます。



MEMO

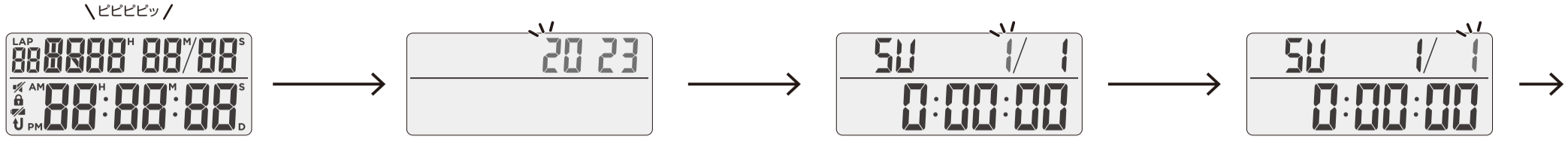
- 電池交換をすると、カレンダー／時計モードおよびその他設定は保持されずリセットされます。

⚠️ 注意

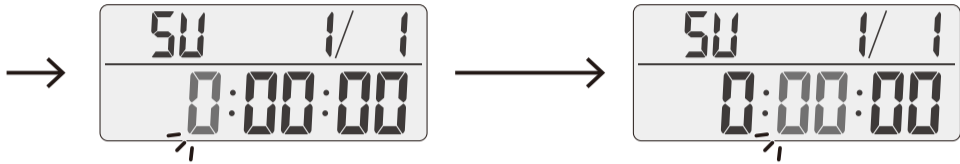
- 電池の+と-の向きを間違えないように注意してください。
- 新しい電池と使用済みの電池、または種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。

はじめに 起動時設定およびカレンダー／時計モード設定

- ① 電池を入ると、起動音、LEDランプの点滅とともに画面の全セグメントが約1秒間表示され、自動的にカレンダー／時計モードの設定に移ります。
※日時設定をしないと本製品の機能を使用することはできません。
- ② 画面上部に「西暦(2023年)」が表示され、点滅します。HOUR または MIN を押して「西暦」を合わせ、START/STOP SET を押して設定します。
※2023年～2099年まで設定可能です。
- ③ 画面上部に「曜日」、「月」、「日」、画面下部に「時」、「分」、「秒」が表示され、「月」が点滅します。HOUR または MIN を押して「月」を合わせ、START/STOP SET を押して設定します。
- ④ 「日」が点滅します。HOUR または MIN を押して「日」を合わせ、START/STOP SET を押して設定します。

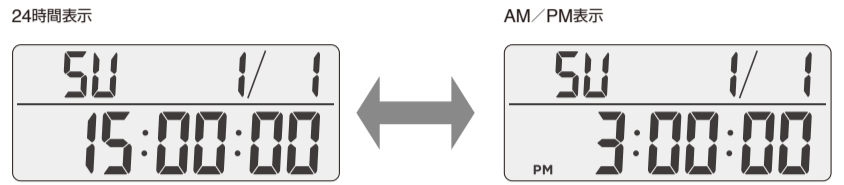


- ⑤ 「時」が点滅します。HOUR または MIN を押して「時」を合わせ、START/STOP SET を押して設定します。
※起動時は24時間表示での設定となります。
- ⑥ 「分」が点滅します。HOUR または MIN を押して「分」を合わせ、START/STOP SET を押して設定します。設定完了となり、設定時刻の「00秒」から時計がスタートします。

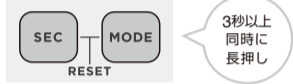


MEMO

●カレンダー／時計モード時に START/STOP SET を押すと、「24時間表示」と「AM/PM表示」を切り替えることができます。



●設定をリセットする場合は、カレンダー／時計モード時に SEC と MODE を3秒以上同時に長押ししてください。



1 タイマーモード設定(カウントダウン)

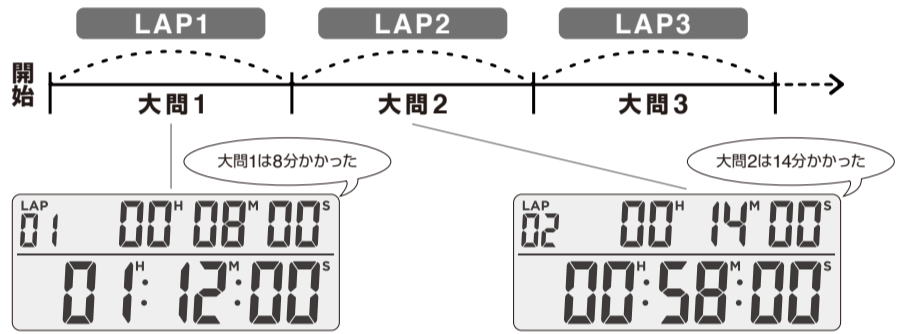
- ① MODE を押し、タイマーモードにしてから SEC と MODE を同時に押してタイマー表示をリセットします。
- ② HOUR で「時(H)」、MIN で「分(M)」、SEC で「秒(S)」をセットします。
※最大セット時間は99時間59分59秒です。
- ③ START/STOP SET を押すと、カウントダウンが開始します。
- ④ カウントダウン中に START/STOP SET を押すと、カウントダウンが一時停止します。一時停止中に START/STOP SET を押すと、カウントダウンが再開します。
- ⑤ カウントダウンが終了するとアラーム音とLEDランプの点滅(約10秒間)でお知らせし、自動的に折り返しカウントアップが開始します。
※折り返しカウントアップが開始すると、画面の左側に「折り返しカウントアップアイコン」が点灯します。
※折り返しカウントアップの最大表示時間は99時間59分59秒です。最大表示時間に達すると、折り返しカウントアップは自動で停止します。
- ⑥ アラーム音とLEDランプの点滅は START/STOP SET で止めることができますが、カウントは継続されます。もう一度 START/STOP SET を押すとカウントが一時停止します。
- ⑦ SEC と MODE を同時に押すとリピート機能が働き、直前に設定した時間が表示されます。START/STOP SET を押すと、再度同じカウントダウンを開始できます。カウントダウンを開始せずに SEC と MODE を同時に押すと、表示がリセットされます。

2 タイマーモード設定(カウントアップ)

- ① MODE を押し、タイマーモードにしてから SEC と MODE を同時に押して、タイマー表示をリセットします。
- ② START/STOP SET を押すと、カウントアップが開始します。
※最大表示時間99時間59分59秒に達すると、カウントアップは自動で停止します。
- ③ カウントアップ中に START/STOP SET を押すと、カウントアップが一時停止します。一時停止中に START/STOP SET を押すと、カウントアップが再開します。
- ④ SEC と MODE を同時に押すと、表示がリセットされます。

3 タイマーモード設定(LAPタイム)

LAPタイム機能…大問ごとにかかった時間の管理ができるので、過去問題集などで傾向を掴み、効果的な試験対策を立てることができます。



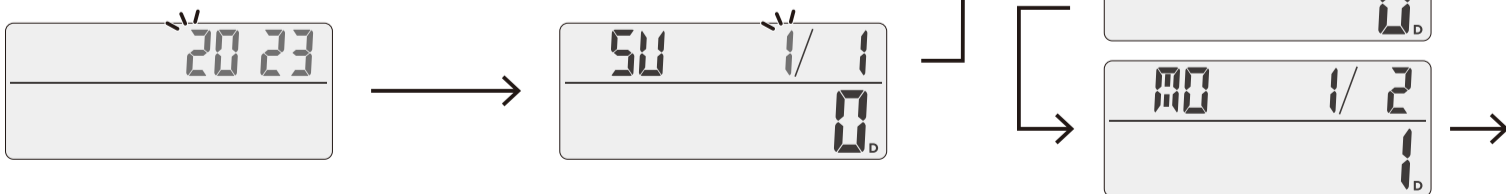
(例)試験時間を80分(1時間20分)と想定し、カウントダウンにて計測。

- ① カウントダウン、カウントアップおよび折り返しカウントアップ中に LAP/RECALL を押すと、LAPタイムを記録することができます。
※最大記録数は99回です。
※LAP01のLAPタイム表示はカウントスタート時から、最初に LAP/RECALL を押した時間までの経過時間(カウントアップ)です。LAP02以降のLAPタイム表示(LAP02～99)は、前回のLAPタイムを記録した時間から、LAP/RECALL を押した時間までの経過時間(カウントアップ)です。
- ② カウントを一時停止してから LAP/RECALL を押すと、計測中のLAPタイムが記録され、これまでに記録したLAPタイムを確認できるRECALLモードになります。
※RECALLモード中は画面左上の「LAP」表示が点滅します。
- ③ RECALLモードでは、確認したいLAPタイムの記録を、HOUR と MIN で選択して表示させることができます。
- ④ RECALLモード中に LAP/RECALL を押すと、RECALLモードが解除されます。
- ⑤ START/STOP SET を押すと、カウントを再開できます。
※これまでのLAPタイムの記録は、SEC と MODE を同時に押して、表示をリセットするまで保持されます。
※RECALLモード中はカウントを再開できません。

4 デイカウントモード設定

デイカウント機能…試験など、イベントまでの日数をカウントダウン計測できます。

- ① MODE を押し、デイカウントモードにしてから SEC と MODE を3秒以上同時に長押しすると、画面上部にカレンダー／時計モードで設定した「西暦」が表示され、点滅します。HOUR または MIN を押して「西暦」を合わせ、START/STOP SET を押して設定します。
※2023～2099年まで表示可能ですが、最大設定日数は999日となります。
※カレンダー／時計モードの設定が2099年12月31日の場合、デイカウント機能の設定はできません。
- ② 画面上部にカレンダー／時計モードで設定した「曜日」、「月」、「日」が表示され、「月」が点滅します。HOUR または MIN を押して「月」を合わせ、START/STOP SET を押して決定します。
※最大設定日数999日を超える設定や、0日以下の設定をすることはできません。
- ③ 「日」が点滅します。HOUR または MIN を押して「日」を合わせ、START/STOP SET を押して決定すると、画面上部に設定した日付が表示され、画面下部に設定した年月日までの残り日数が表示されます。
※最大設定日数999日を超える設定や、0日以下の設定をすることはできません。



- ④ 設定した日付になると、画面下部の残り日数の表示が「0」になります。



MEMO

●設定内容をリセットする場合は、デイカウントモード時に SEC と MODE を3秒以上同時に長押ししてください。
※設定のリセットは、残り日数に関係なくすることができます。

●デイカウントモード表示説明

■デイカウント設定時
[画面上部]: 設定した日付が表示されます。
[画面下部]: 設定した日付までの残り日数が表示されます。



■デイカウント未設定時
[画面上部]: 表示なし。
[画面下部]: 0日と表示されます。



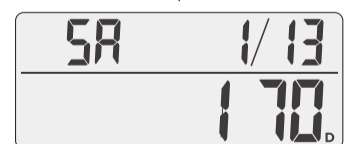
5 モード切り替え

MODE を押してモードを切り替えることができます。
※カレンダー／時計モードおよびデイカウントモード設定中は、モード切り替えをすることはできません。

カレンダー／時計モード



デイカウントモード



タイマーモード



MEMO

- タイマーカウント(カウントダウン/カウントアップ/折り返しカウントアップ)中にモード切り替えをしても、タイマーカウントは継続されます。
- カウントダウン中にモード切り替えをして別モードになっても、カウントダウン終了と同時に、強制的にタイマーモードに切り替わります。